



平和資料館 草の家 だより

No.115

2012年6月21日発行



草と草の根の連帯をあらわす
草の家のシンボルマーク

〒780-0861 高知市升形 9-11 Tel 088-875-1275 Fax 088-821-0586
E-mail: GRH@ma1.seikyō.ne.jp <http://ha1.seikyō.ne.jp/home/Shigeo.Nishimori>

平和を支える文化運動 ピースウェイブ

平和資料館・草の家 館長 岡村正弘

ピースウェイブの季節がやってまいりました。今年も10余の行事が決まり、ポスター、チラシが出来ました。すっかり高知の街に定着した、夏の文化イベントになりました。

高知空襲展から出発した「戦争と平和を考える資料展」(草の家主催)が今年34回目で、良く頑張っていると誇らしく思います。

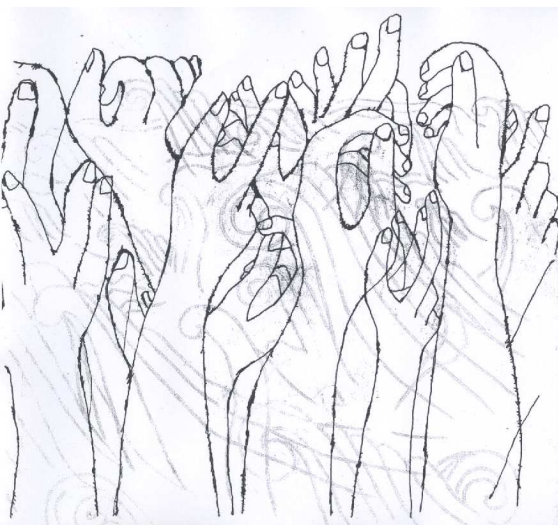
第30回平和七夕まつり、第29回平和映画祭、第29回反核平和コンサート、第29回平和美術展、第18回アジアの人々が連帯するつどい、第6回俺体コンサートどれも良く頑張っています。その他、第何回とは呼んでいませんが、ピースウェイブスタートのつどい、ピースアクション・ユニセフのつどい in こうち、灯ろう流し、DVD「原発～その利益の構造」上映会、小夏の映画会等があります。

新聞記者の人に、「ピースウェイブの参加者は何人ですか?」とよく質問されます。…一体どれくらいの人がかかわっているだろうか。

「平和七夕まつり」の鶴を誰が折っているのか、何人で折っているだろうかと考えました。大まかに、小学校・中学校、生活協同組合(コープ)、平和民主団体・労働組合、福祉施設の四つのグループから出品があります。

“100万羽の折り鶴”と呼んでいますが実際には少し足りません。が、それにしても何人がかかわっているだろうか想像してみてください。

ピースウェイブの行事には参加してくれる“目に見える”人の他に、“目に見えない”けど支えてくれている沢山の県民市民がいます。本当に大きな文化運動であり、平和を願う市民運動であります。



平和資料館・草の家はこの運動の中心になって頑張っています。そして「草の家」会員のみならずからの個人カンパが運営全体の大きな支えになっています。心から感謝いたします。

東北大震災・原発災害からの復興がまならないなか、原発再稼働は許せません。野田内閣は消費税増税、原発再稼働、沖縄・本土の米軍基地強化などを民・自・公一体となり進めようとしています。

草の家は、戦争に反対し、米軍基地と原発はいらない、消費税増税ノーなど平和と生活を守る運動を皆さんと一緒に進めてゆきます。

今年のポスター・チラシの絵は、画家の川村圭三さんが描いてくださいました